

目次

口絵…牧野富太郎ゆかりの花めぐり I～VIII

- 1 ボタンキンバイ(北海道) / 2 コマクサ(秋田) / 3 ナンブトラノオ(岩手) / 4 スエコザサ(宮城)
 / 5 ニッコウオトギリ(栃木) / 6 ニヨホウチドリ(栃木) / 7 キンモクセイ(東京) / 8 タマノカンア
 オイ(東京) / 9 シマテンナンシヨウ(東京) / 10 フジイバラ(静岡) / 11 チヨウノスケソウ(富山) /
 12 シンジュギク(三重) / 13 スイタゲワイ(大阪) / 14 アリマギミ(兵庫) / 15 ノジギク(兵庫) / 16 ア
 テツマンサク(岡山) / 17 ビロードムラサキ(高知) / 18 ヤッコソウ(高知) / 19 マルバマンネングサ(高
 知) / 20 ヒメノボタン(高知) / 21 サカワサイシン(高知) / 22 ノカイドウ(宮崎) / 23 ミヤマキリシマ(宮
 崎) / 24 タマムラサキ(長崎) / 25 ヒゼンマユミ(長崎) / 26 ヤクシマスマミレ(鹿児島) / 27 ヒメハマナ
 デシコ(鹿児島) / 28 サキシマフヨウ(鹿児島) / 29 タイワンマダケ(台湾) / 30 カンテンイタビ(台湾)

プロローグ

真ん中に洋装の老人 8

利尻

- 鹿追う猟師は山見ず 11 / 北の名峰を目指す 13 / 小樽から洋上の旅 15 / 茫漠の海に浮かぶ 17 / 頂上未だ見えず 19 / 山で夜を明かす 22 / 未知の植物がある 24 / 発見と神秘的体験 26 / 見逃してはならない 29

屋久島

- 人気講師、南へ 32 / 月給15万円?の東大助手 34 / 龍馬とミヤマキリシマ 36 / 日本の植生の縮図 38 / ひよっこりヤッコソウ 41 / 見てはいけないもの 44 / 渾身の「大日本植物志」 46 / ウイルソンのハート 50 / 照葉樹林のトンネル 52 / 愛好家になればよい 56

東京

- 先に進んで出ねば 59 / 人生を定める旅へ 61 / 植物学者の出発点 64 / 「政治」との決別 66 / 土佐からの珍しい男 69 / 日本植物誌作りたいたい 72 / 世界的発見「ムジナモ」 75

／大学出入りを禁ず 77／ロシアに行きたい 80／海南土佐の一男子 83

神 戸

六甲高山植物園を指導 87／兵庫県花「ノジギク」 89／生涯直らぬ悪癖？ 92／1億円？
の蔵書 95／標本を売るしかない 98／篤志家は大学生 101／牧野公園からの眺望 104／
蜜月から池長問題へ 106／破綻した「美しい物語」 109／時が解決した「池長問題」 112

仙 台

まあ恋女房ですネ 115／恋する2人の「壁」 118／愛の巢と苦悩と 121／寿衛すえのビジネス
ス 123／苦勞と幸福の日々 126／学位とマイホーム 130／ライバル？南方熊楠みななかたくまぐす 133／新種
のササを発見 135／もう眠らせてください 138／世の中のある限り… 141

晩年の東京

名声確立した「凶鑑」 144／江戸川で至福の昼寝 146／「牧野ブランド」の凶鑑 149／東大

の講師を辞任 151 / 天から授かった健康体 154 / 図鑑出版競争を経て 157 / あなたは国の宝です 161 / 生き返った博士 164 / 百まで生きたいもんじや 168 / 植物を愛した幸福 170

佐川、そして今

「親の味」を知らない 174 / 金峰^{きんぶ}神社の急な石段 176 / 佐川^{さえがわ}山分 学者あり 179 / バイカ
オウレンの群落 182 / 死後の大きな宿題 184 / まずは標本清掃から 187 / 標本を死なせる
な 189 / 標本と対話した40年 192 / 庭にしゃがむ曾祖父 194 / 己を捨て、自然の中へ 196

「大人物 牧野富太郎」—— いろいろ 200 ~ 201

植物への愛を受け継いで —— 高知県立牧野植物園・小山鐵夫園長に聞く 202 ~ 205

牧野富太郎全国踏査・ゆかりの地マップ 206 ~ 221

牧野富太郎の生涯 略年譜 222 ~ 227

あとがき 228 ~ 229